

第11回統計委員会・第13回基本計画部会 議事概要

1 日 時 平成20年7月14日(月)15:00~17:10

2 場 所 中央合同庁舎第4号館 共用第1特別会議室

3 出 席 者

【委員等】

竹内委員長、吉川委員長代理、大守部会長代理、阿藤委員、井伊委員、廣松委員、舟岡委員、美添委員、黒田臨時委員

【統計委員会運営規則第3条及び6条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長》

内閣府経済社会総合研究所長、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、文部科学省生涯学習政策局調査企画課長、厚生労働省大臣官房統計情報部長、農林水産省大臣官房統計部長、経済産業省経済産業政策局調査統計部長、国土交通省総合政策局情報管理部長、環境省総合環境政策局環境計画課企画調査室長、日本銀行調査統計局審議役(統計担当)、東京都総務局統計部長

【事務局】

中島内閣府大臣官房統計委員会担当室長
中田総務省政策統括官(統計基準担当)

4 議事次第

- (1) 部会の審議状況について
- (2) 基本計画部会各ワーキンググループの審議状況について
- (3) その他

5 議事概要

(1) 部会の審議状況について

平成20年6月13日に開催された第5回企業統計部会及び平成20年6月26日に開催された第6回企業統計部会の審議状況について、資料1に基づき、美添部会長から報告があった。

(2) 基本計画部会各ワーキンググループの審議状況について

基本計画部会各ワーキンググループ(以下「WG」という。)の審議状況に関し、第1WGについては資料2に基づき美添座長から、第2WGについては資料3に基づき舟岡座長から、第3WGについては資料4に基づき阿藤座長から、第4WGについては資料5に基づき廣松座長から、それぞれ報告があった。各委員等の主な意見は次のとおり。

- ・ 基本計画の策定に向けて統計委員会としてどのように詰めていくのか見えてこないところがある。統計を良くする観点から、既存の統計で欠けているところの改善、本当に必要で重要な統計であるが現在ないもの、基幹統計の候補のリストアップ、重要な加工統計と基礎統計の連携の方向性や改善等、全体像が見えるような形にするとともに、今後の議論の仕方を整理して、基本計画部会において詰めていく必要がある。
- ・ 今後の基本計画部会の予定は、次回8月20日に各WGの報告書が出され、10月頃に中間報告を出して、パブリックコメントを経て、年末の答申に向けて更に詰めていく方針。WGをまたぐ大きな問題は、基本計画部会で議論していくことを予定。
- ・ 21年及び23年に経済センサスの実施が予定されているが、経済統計の体系化のキーとなる重要な統計であるので、基本計画の中でどのように位置付けるのか、十分な検討が必要。
- ・ 統計委員会が法施行型であることは認識しつつ、今後、どのような形でアカデミズムと連携をとりながら、統計の体系的整備に反映させていくのかについての検討が重要ではないか。
- ・ 平成20年から24年に向けて大規模な統計調査が毎年実施される。基本計画の中で、周期調整を考えるのかどうか、基本計画部会で検討すべき。

(3) その他

次回の委員会は平成20年8月20日(水)14:00から基本計画部会との合同で開催することとなった。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>